

# 鎌倉市 次世代育成支援に関するニーズ調査 報告書概要版

この冊子は、平成16年1月に市民の方にご協力をいただいて実施した、「鎌倉市次世代育成支援に関するニーズ調査」のあらましです。ご協力いただいた皆様には、心からお礼を申し上げます。

また、この結果は、今後の次世代育成支援を推進していくうえで、貴重な資料として活用させていただきます。

鎌倉市 こども局推進担当

〒248 - 8686 鎌倉市御成町18番10号

電話 (0467) 23 - 3000 代表

## 調査の設計

**調査目的** 次世代育成支援対策推進法に基づく、鎌倉市次世代育成支援行動計画の策定にあたり、地域の子育て家庭の生活実態や意識、サービスの利用実態・利用動向を把握することを目的とします。

**調査地域** 鎌倉市全域

**調査対象者** (1) 就学前児童(就学前児童の保護者) 2,000人  
(2) 就学児童(就学児童の保護者) 2,000人

**調査方法** 訪問留め置き - 訪問回収

**調査期間** 平成16年1月9日(金) - 平成16年1月27日(火)

## 回収結果

調査名	対象数	有効回収数	有効回収率
就学前児童調査	2,000	1,571	78.6%
就学児童調査	2,000	1,530	76.5%

## 報告書概要版を読む場合の留意点

- (1) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数(N)として算出し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- (2) 複数回答の場合には、回答比率の合計が100%を超えることがあります。

\* その他の調査として、「20歳代・30歳代市民調査」「40歳代・50歳代市民調査」「成人意識調査」を実施しました。

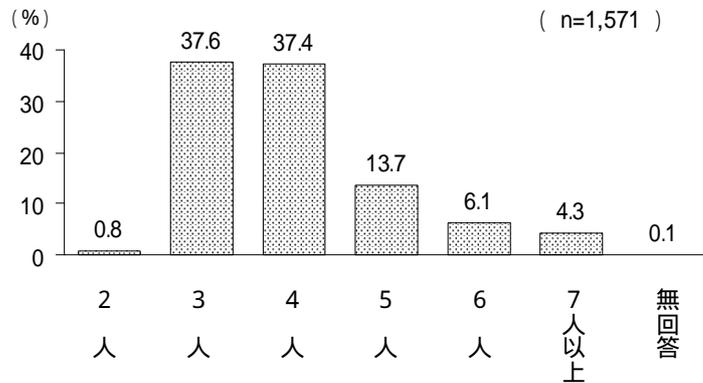
## 目 次

第1部 就学前児童	1
回答者の属性	1
子育てについての考え	2
1 子育て中の現在の生活についての満足度	2
2 理想と持つつもりの子どもの人数	2
3 子どもが理想より少ない理由	3
育児について	4
4 子育てでどうしたらいいかわからなくなること	4
5 子どもの世話をしたくないとき	4
6 子どもの虐待について	5
7 子育てを楽しく安心して行うために必要なサービス	6
子どもの教育・保育	7
8 幼稚園の預かり保育の認知状況	7
9 幼稚園の預かり保育についての考え	7
10 平日の保育サービスの利用状況	9
11 平日に保育サービスを利用しない理由	10
12 希望どおりの利用可能時の平日の保育サービスの利用意向	11
13 平日の保育サービスの希望サービス	12
14 土曜日の保育サービスの利用意向	12
15 休日(日曜日、祝日)の保育サービスの利用意向	13
一時預かり等のサービスの利用	14
16 やむを得ない事情で子どもの面倒をみられなくなったこと	14
17 私的な用事等で子どもを家族・親族以外に預けたいと思うことと、その日数	15
18 私的な用事等で子どもを預けたいサービス	16
19 病気等により保育所等を休んだことと、その対処法	17
次世代育成支援(子育て支援)のあり方	18
20 子育てを行っていて特に困ること、困ったこと	18
第2部 就学児童	19
回答者の属性	19
子育てについての考え	20
1 子育て中の現在の生活についての満足度	20
2 理想と持つつもりの子どもの人数	20
3 子どもが理想より少ない理由	21
子どもの日常生活	22
4 テレビ・ビデオの視聴時間	22
5 テレビゲームやパソコンで遊ぶ時間	22
子どもの過ごし方	23
6 平日の放課後の過ごし方	23
7 土曜日や休日の過ごし方	24
8 平日の放課後児童クラブ(子どもの家)の利用状況	26
9 土曜日の放課後児童クラブ(子どもの家)の利用状況	27
10 放課後児童クラブ(子どもの家)の利用時間の延長や休日の利用の希望	28
11 放課後児童クラブを利用しない理由	28
12 放課後児童クラブ(子どもの家)を知らなかった人の今後の利用の希望	29
次世代育成支援(子育て支援)のあり方	29
13 子どもの安全を守るために重要なこと	29
14 父親が子育てにかかわりづらい理由	30

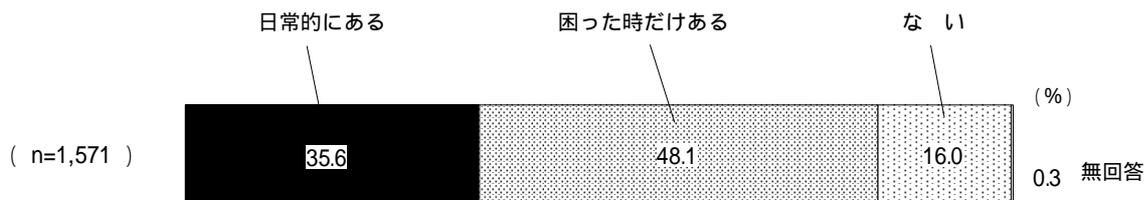
# 第1部 就学前児童

## 回答者の属性

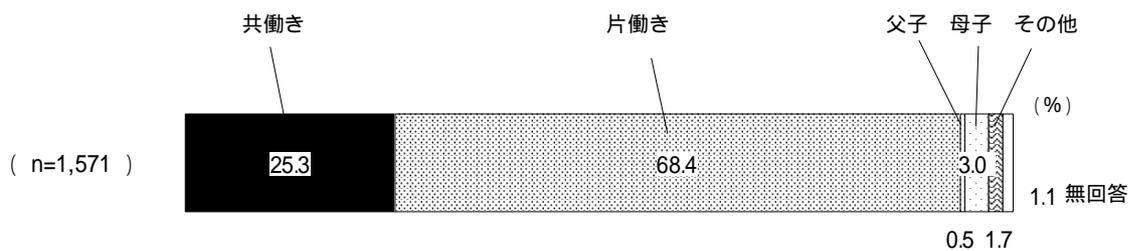
### (1) 家族人数



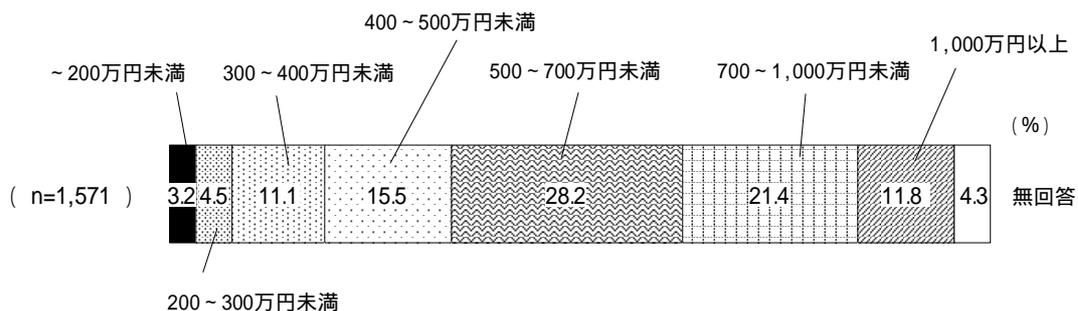
### (2) 祖父母や家族による子育ての支え



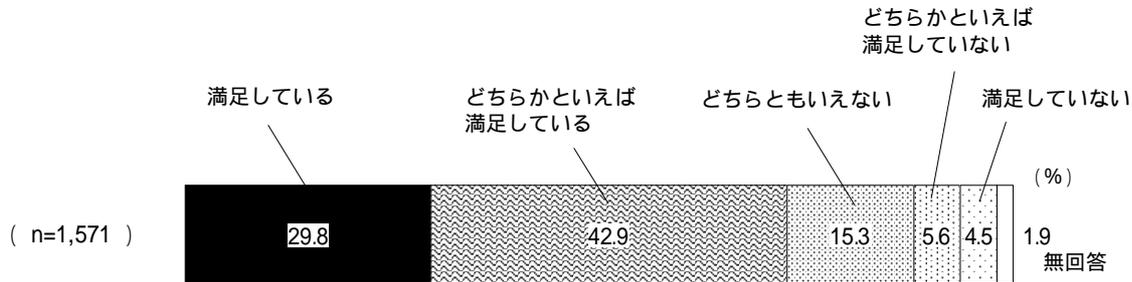
### (3) 両親の就業形態



### (4) 世帯の年収

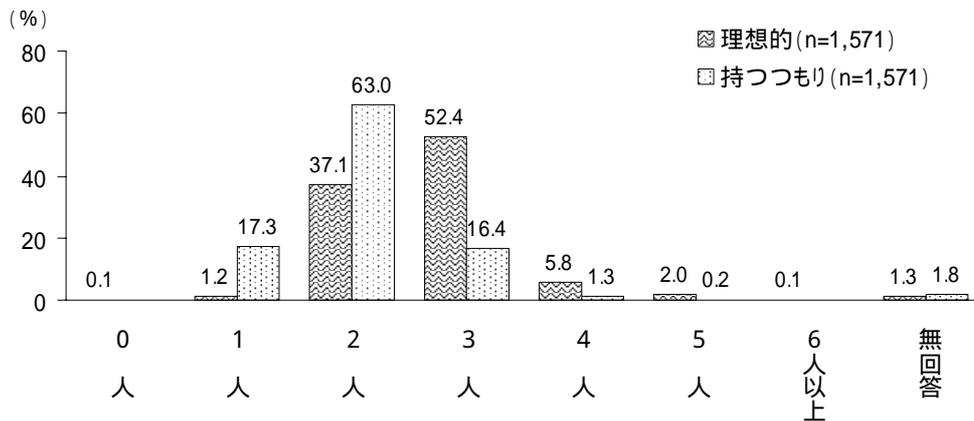


## 1 子育て中の現在の生活についての満足度



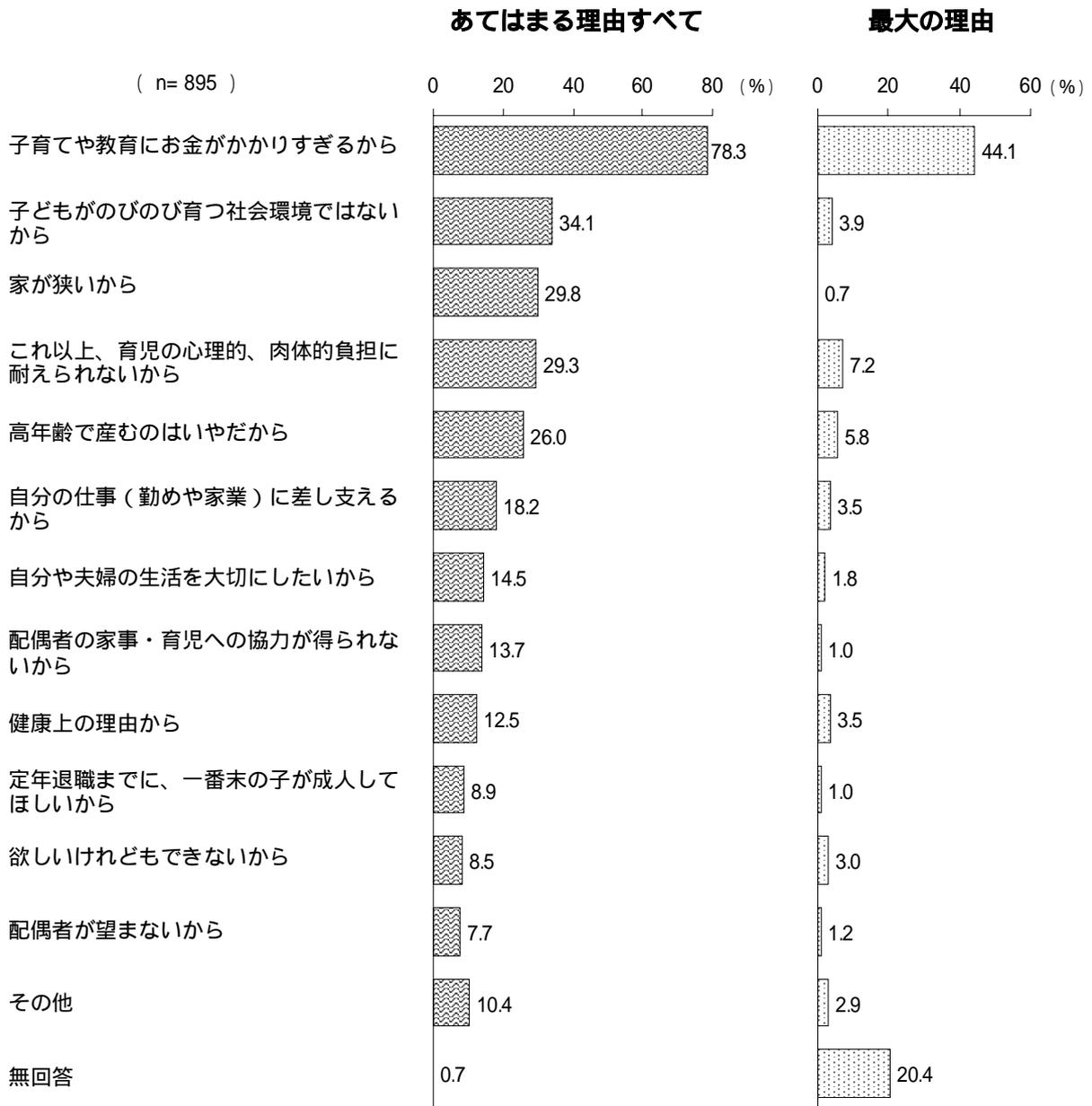
子どもを育てている現在の生活に対して、「満足している」が29.8%で、これに「どちらかといえば満足している」(42.9%)を合わせた満足度は72.7%を占めています。一方、「どちらかといえば満足していない」(5.6%)と「満足していない」(4.5%)を合わせた不満度は10.1%となっています。

## 2 理想と持つつもりの子どもの人数



理想的な子どもの数は「3人」が52.4%で最も多く、これに「2人」(37.1%)が次いでいます。

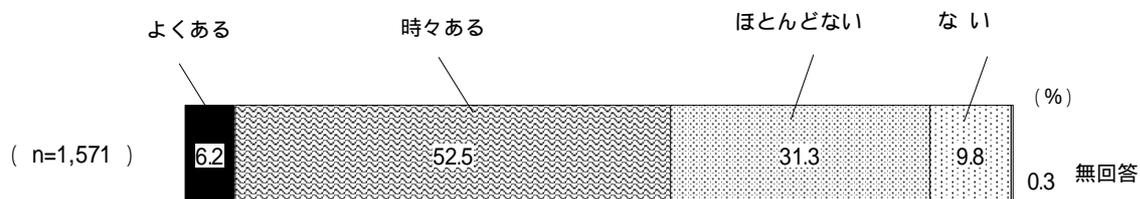
一方、持つつもりの人数としては「2人」が63.0%と6割を超えています。また、「3人」は16.4%に留まっており、理想と現実のギャップが明確にあらわれています。



持つつもりの子どもの数が理想より少ない人に、その理由をきくと、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が78.3%で最も多く、以下「子どもがのびのび育つ社会環境ではないから」（34.1%）、「家が狭いから」（29.8%）、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」（29.3%）の順で続いています。

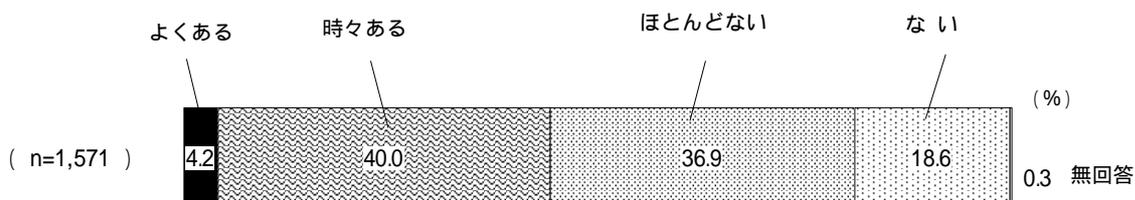
また、最大の理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（44.1%）が突出して多くなっています。この他の理由は各項目に分散していますが、その中では「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」（7.2%）と「高年齢で産むのはいやだから」（5.8%）が多くなっています。

## 4 子育てでどうしたらいいかわからなくなること



子育てをしていてどうしたらいいかわからなくなるときが「よくある」という人は6.2%で、これに「時々ある」(52.5%)を合せた 経験あり は58.7%を占めています。一方、「ほとんどない」は31.3%、「ない」は9.8%となっています。

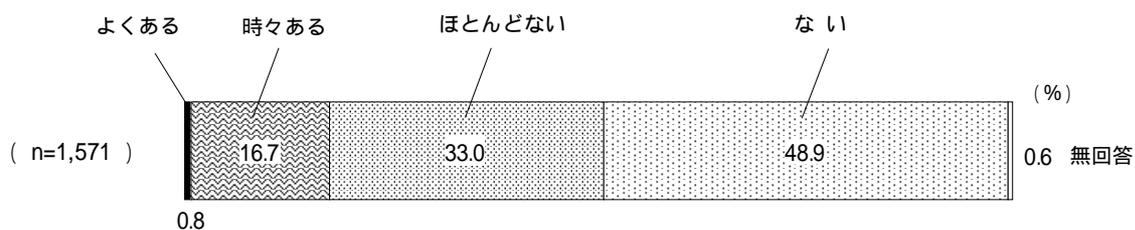
## 5 子どもの世話をしたくないとき



やる気がおこらず、子どもの世話をしたくないときが「よくある」という人は4.2%で、これに「時々ある」(40.0%)を合せた 経験あり は44.2%を占めています。一方、「ほとんどない」は36.9%、「ない」は18.6%となっています。

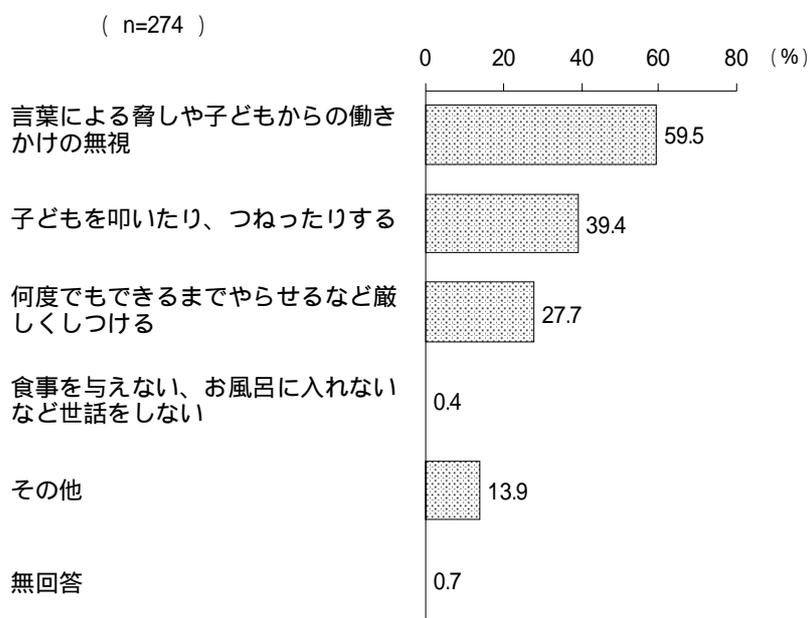
# 6

## 子どもの虐待について

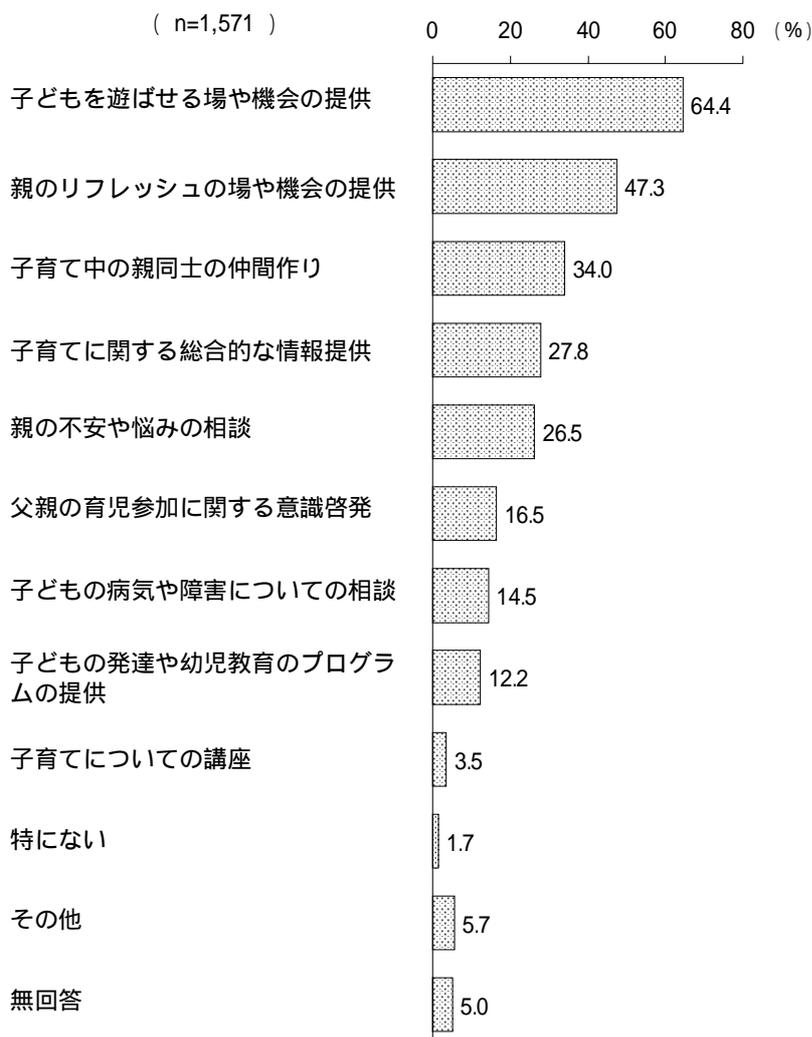


自分が子どもを虐待していると思うことが「よくある」という人は0.8%で、これに「時々ある」(16.7%)を合わせた ある は17.5%を占めています。

一方、「ほとんどない」は33.0%、「ない」は48.9%となっています。

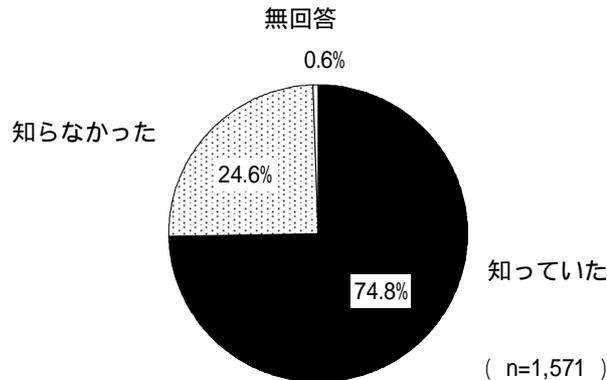


さらに、ある という人(全体の17.5%)に、そう思うのはどのような時かきいたところ、「言葉による脅しや子どもからの働きかけの無視」が59.5%と最も多く、以下「子どもを叩いたり、つねったりする」(39.4%)、「何度でもできるまでやらせるなど厳しくしつける」(27.7%)の順で続いています。



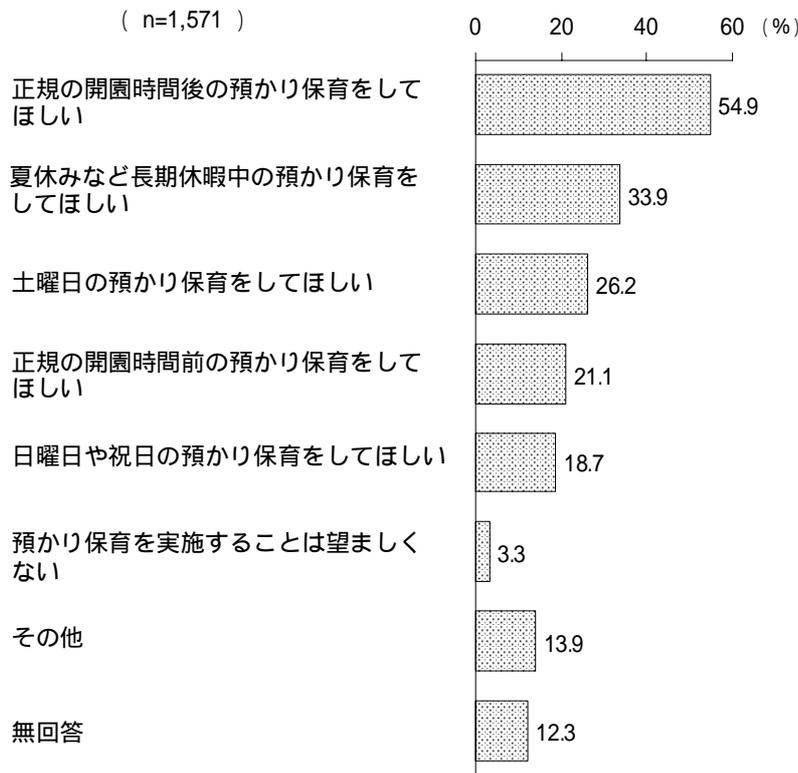
楽しく子育てをするのに必要なサービスとしては、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が64.4%で最も多く、以下「親のリフレッシュの場や機会の提供」(47.3%)、「子育て中の親同士の仲間作り」(34.0%)、「子育てに関する総合的な情報提供」(27.8%)、「親の不安や悩みの相談」(26.5%)の順で続いています。

## 8 幼稚園の預かり保育の認知状況



幼稚園の預かり保育という制度について「知っていた」という人は74.8%を占めています。

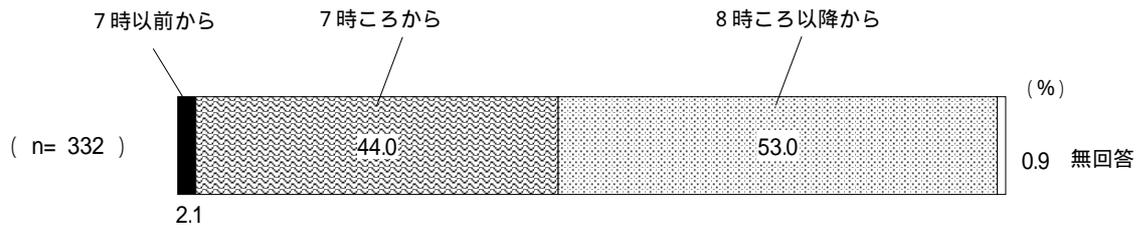
## 9 幼稚園の預かり保育についての考え



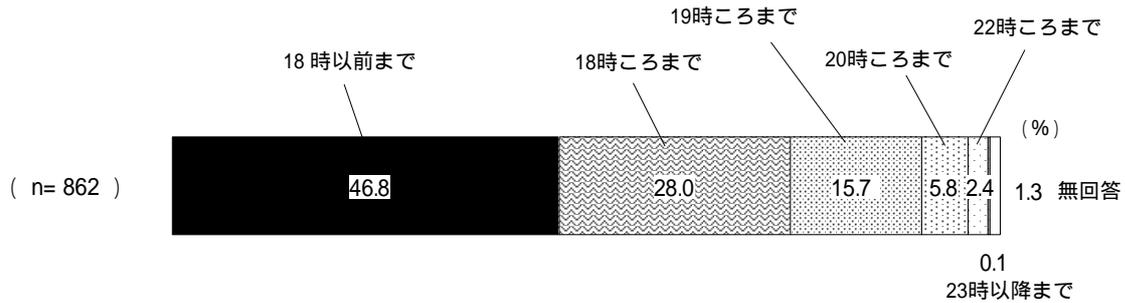
幼稚園の預かり保育については、「正規の開園時間後の預かり保育をしてほしい」が54.9%と過半数を占めています。一方、「正規の開園時間前の預かり保育をしてほしい」は21.1%となっています。

他の要望としては「夏休みなど長期休暇中の預かり保育をしてほしい」が33.9%となっているほか、「土曜日の預かり保育をしてほしい」も26.2%となっています。

### 正規の開園時間前の預かり保育の希望開始時間



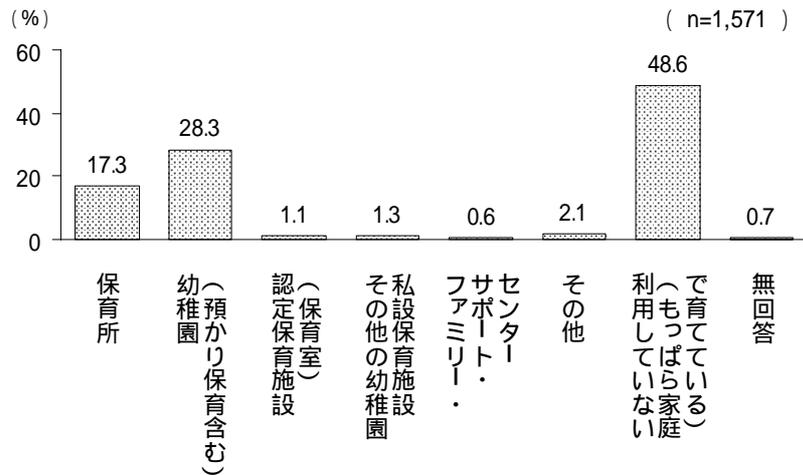
### 正規の開園時間後の預かり保育の希望終了時間



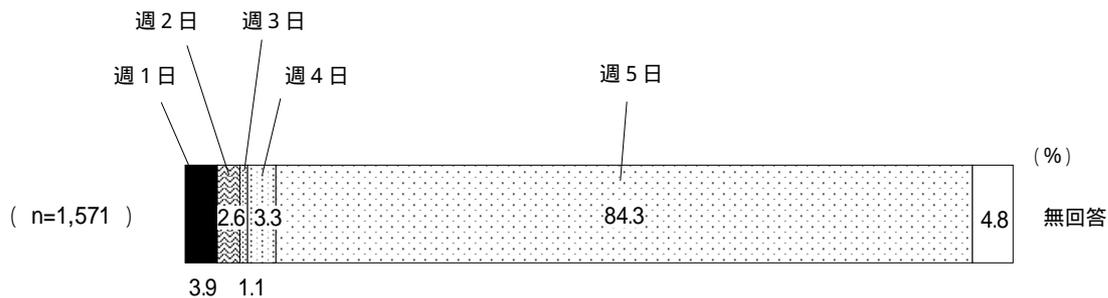
正規の開園時間前の預かり保育をしてほしい という人では、「8時ころ以降から」が53.0%で過半数を占め、次いで「7時ころから」(44.0%)が多くなっています。

正規の開園時間後の預かり保育をしてほしい という人では、「18時以前まで」が46.8%で最も多く、これに「18時ころまで」(28.0%)が次いでいます。また、18時以降の保育の希望も2割を超えています。

## 平日の保育サービスの利用状況

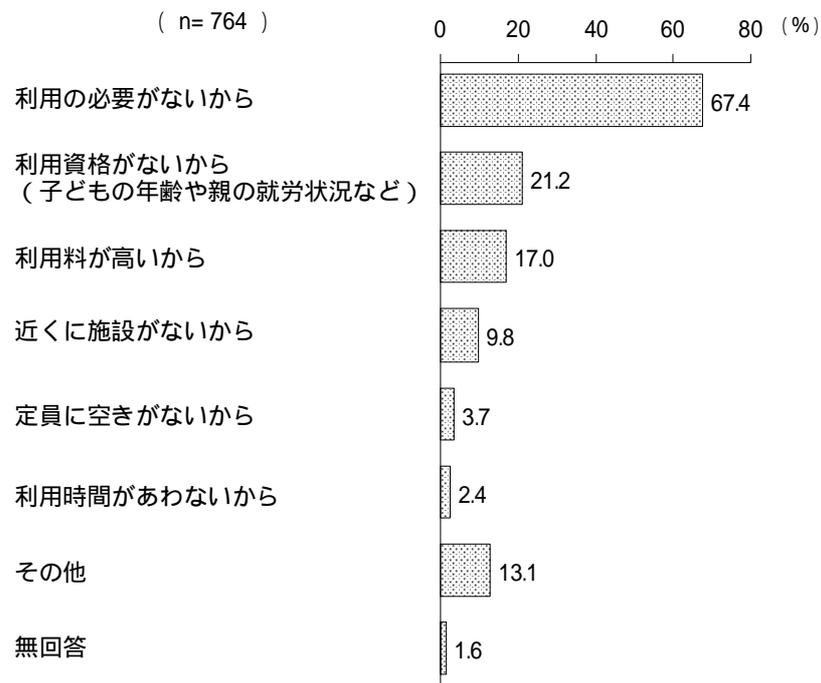


平日の保育サービスの利用状況を見ると、「幼稚園(預かり保育を含む)」が28.3%で最も多く、これに「保育所」(17.3%)が次いでいます。  
一方、「利用していない(もっぱら家庭で育てている)」は48.6%と半数近くを占めています。



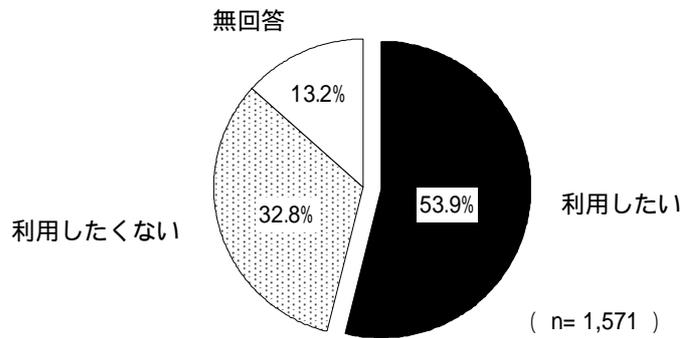
保育サービスを利用しているという人の利用日数は、「週5日」が84.3%と8割を超えています。また、この結果を平均すると「週4.7日」となっています。

## 平日に保育サービスを利用しない理由

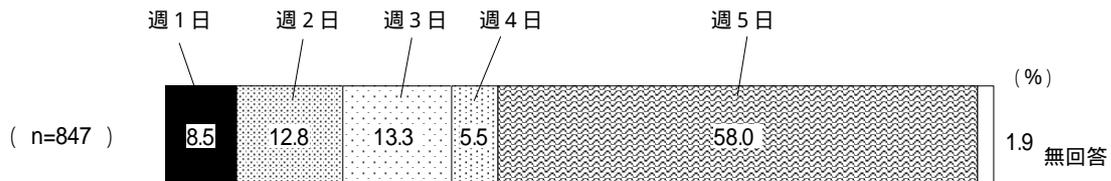


保育サービスを利用していない人（全体の48.6％）に、その理由をきくと、「利用の必要がないから」（67.4％）が圧倒的に多くなっています。他の項目では、「利用資格がないから（子どもの年齢や親の就労状況など）」（21.2％）と「利用料が高いから」（17.0％）が多くなっています。

利用意向

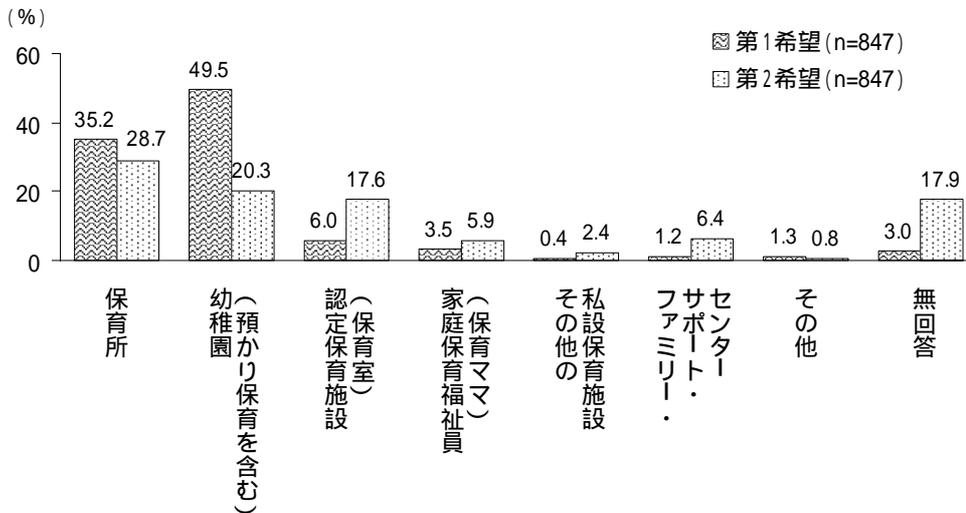


利用日数



平日の保育サービスを「利用したい」が53.9%と過半数を占めています。一方「利用したくない」は32.8%となっています。  
 その場合の利用日数としては、「週5日」が58.0%と6割近くを占めています。  
 また、この結果を平均すると「週3.9日」となります。

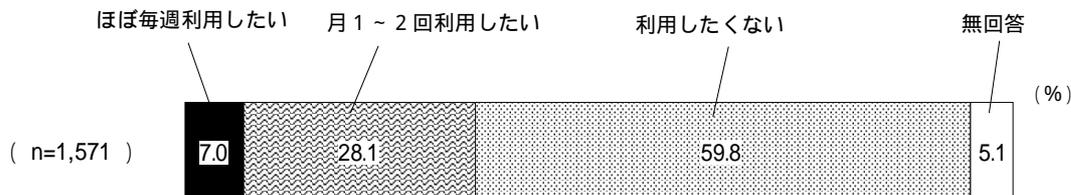
## 平日の保育サービスの希望サービス



平日の保育サービスの希望サービスを見ると、第一希望として、「幼稚園（預かり保育を含む）」が49.5%で最も多く、これに「保育所」（35.2%）が次いでいます。

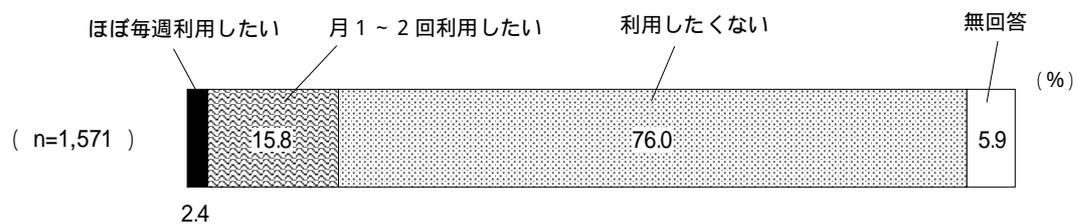
また、第二希望としては「保育所」（28.7%）と「幼稚園（預かり保育を含む）」（20.3%）が2割を超えて多くなっています。

## 土曜日の保育サービスの利用意向



土曜日の保育サービスについては、「ほぼ毎週利用したい」が7.0%で、これに「月1~2回利用したい」（28.1%）を合わせた 利用意向 は35.1%を占めています。

## 休日（日曜日、祝日）の保育サービスの利用意向

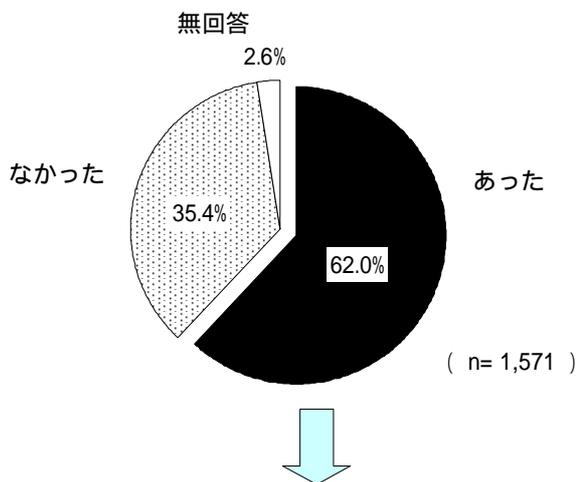


休日（日曜日、祝日）の保育サービスについては、「ほぼ毎週利用したい」が2.4%で、これに「月1~2回利用したい」(15.8%)を合わせた 利用意向 は18.2%を占めています。

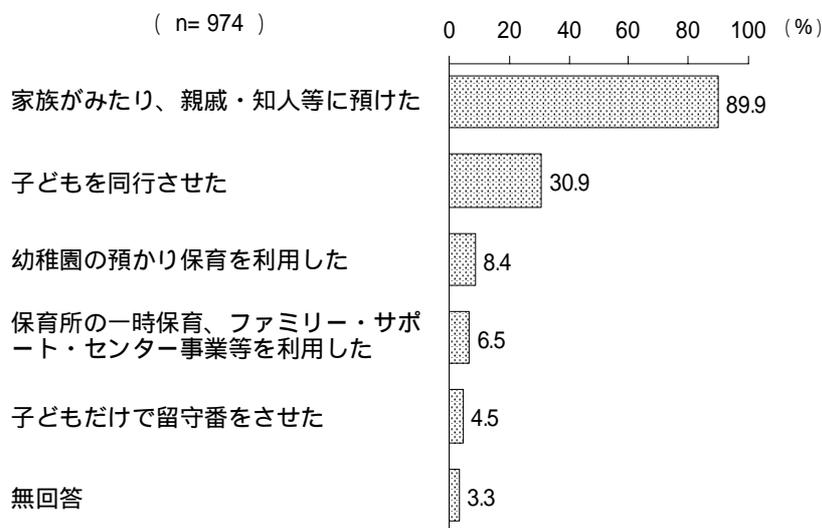
16

やむを得ない事情で子どもの面倒をみられなくなったこと

面倒をみられなくなったことの有無



具体的な対処方法

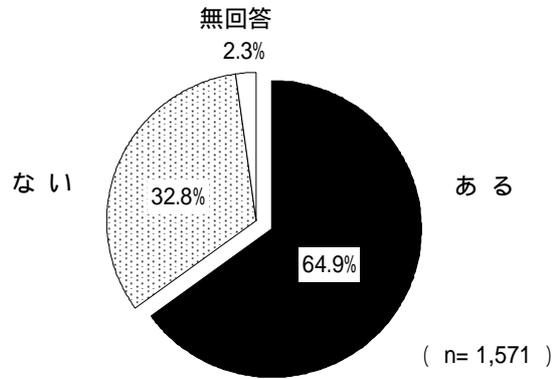


緊急の用事で、子どもの面倒をみられなくなったことが「あった」人が62.0%と、6割を超えています。

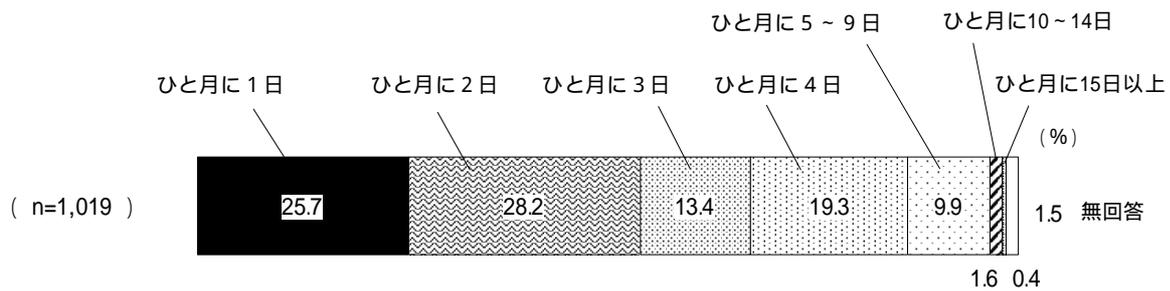
その対処方法としては、「家族がみたり、親戚・知人等に預けた」(89.9%)が圧倒的に多くなっています。また、「子どもを同行させた」(30.9%)も多くなっています。

## 私的な用事等で子どもを家族・親族以外に預けたいと思うことと、その日数

私的な用事等で子どもを家族・親族以外に預けたいと思うこと



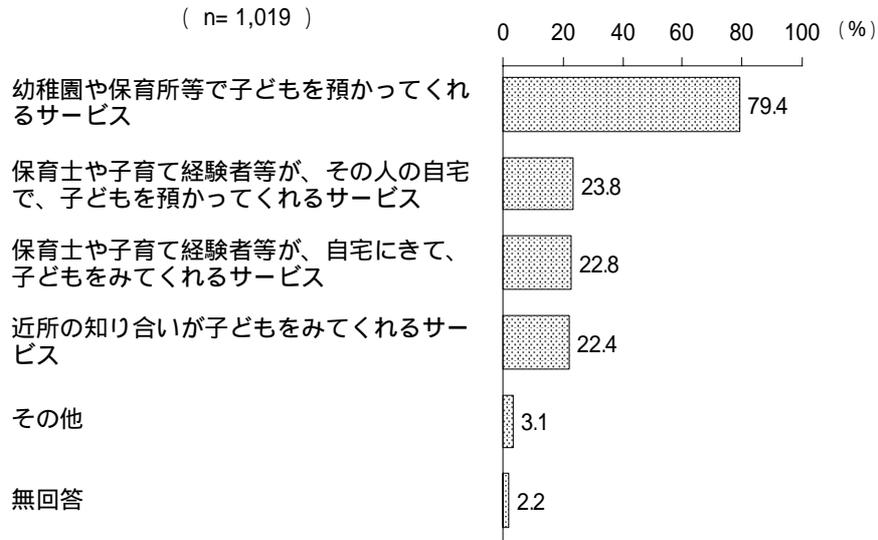
日数



私的な用事やリフレッシュの目的で、子どもを家族・親族以外に預けたいと思うことが「ある」人は64.9%を占めています。

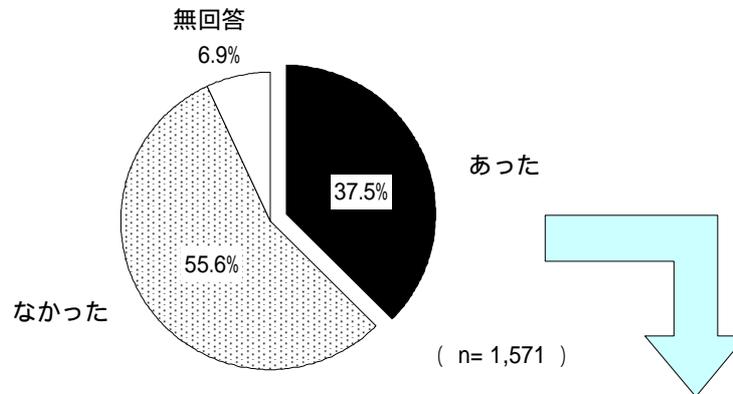
その場合の利用日数としては、「ひと月に1日」(25.7%)と「ひと月に2日」(28.2%)が多くなっています。

また、この結果を平均すると「ひと月に2.8日」となります。

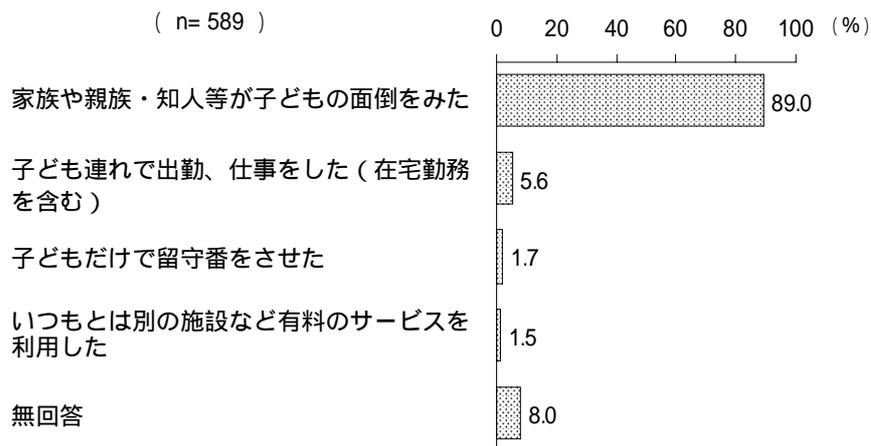


その場合に利用したいサービスとしては、「幼稚園や保育所等で子どもを預かってくれるサービス」(79.4%)が圧倒的に多くなっています。他の項目としては、「保育士や子育て経験者等が、その人の自宅で、子どもを預かってくれるサービス」(23.8%)、「保育士や子育て経験者等が、自宅に来て、子どもをみてくれるサービス」(22.8%)、「近所の知り合いが子どもをみてくれるサービス」(22.4%)の3項目は2割を超えています。

## 病気等により保育所等を休んだこと



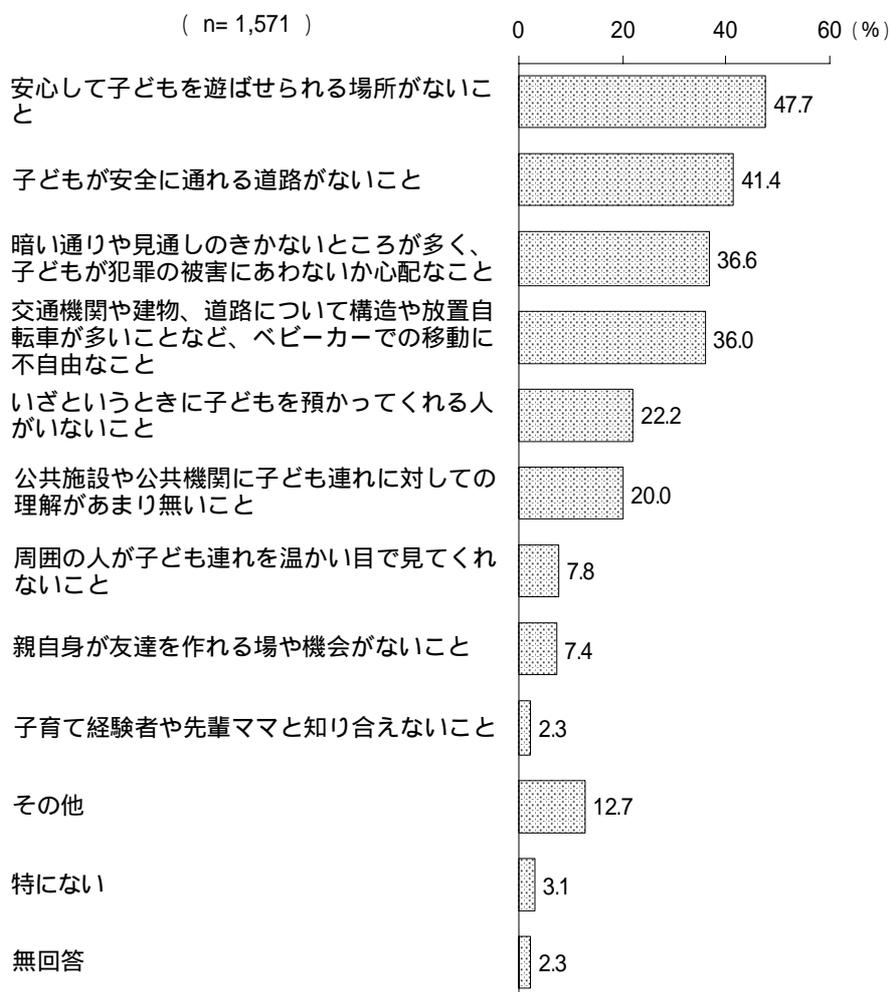
## 具体的な対処方法



子どもが病気で保育所・幼稚園を休んだことが「あった」は37.5%を占めています。  
 その対処方法としては、「家族や親族・知人等が子どもの面倒をみた」(89.0%)が際立って多くなっています。

20

子育てを行っていて特に困ること、困ったこと

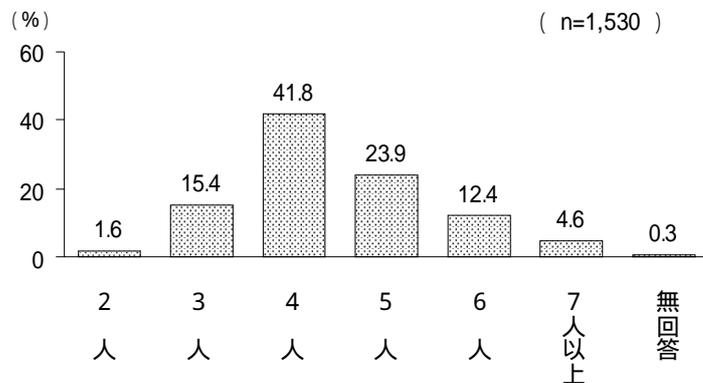


子育てをしていて特に困っていることとしては、「安心して子どもを遊ばせられる場所がないこと」が47.7%で最も多く、以下「子どもが安全に通れる道路がないこと」(41.4%)、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」(36.6%)の順で続いています。

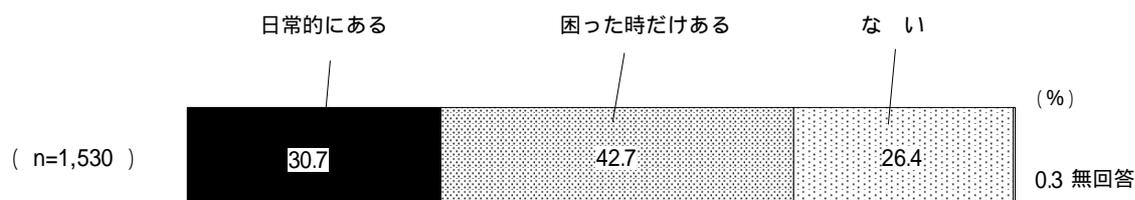
## 第2部 就学児童

### 回答者の属性

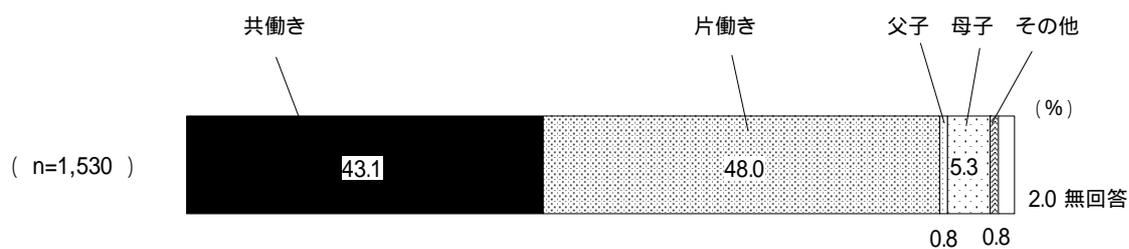
#### (1) 家族人数



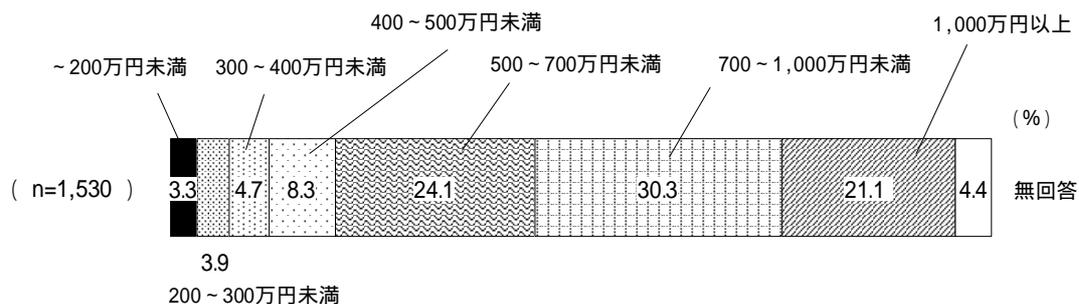
#### (2) 祖父母や家族による子育ての支え



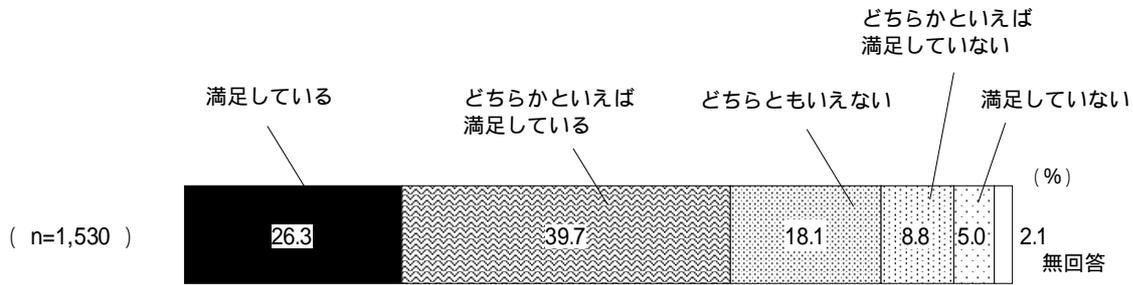
#### (3) 両親の就業形態



#### (4) 世帯の年収



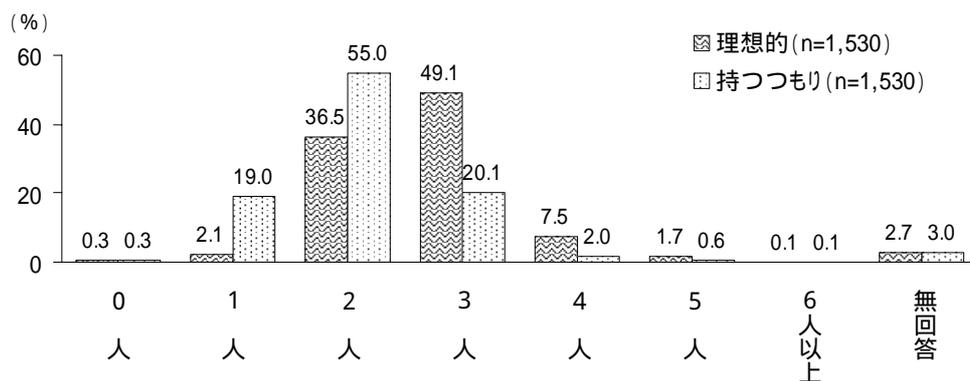
## 1 子育て中の現在の生活についての満足度



子どもを育てている現在の生活に対して、「満足している」が26.3%で、これに「どちらかといえば満足している」(39.7%)を合わせた満足度は66.0%を占めています。

一方、「どちらかといえば満足していない」(8.8%)と「満足していない」(5.0%)を合わせた不満度は13.8%となっています。

## 2 理想と持つつもりの子どもの人数

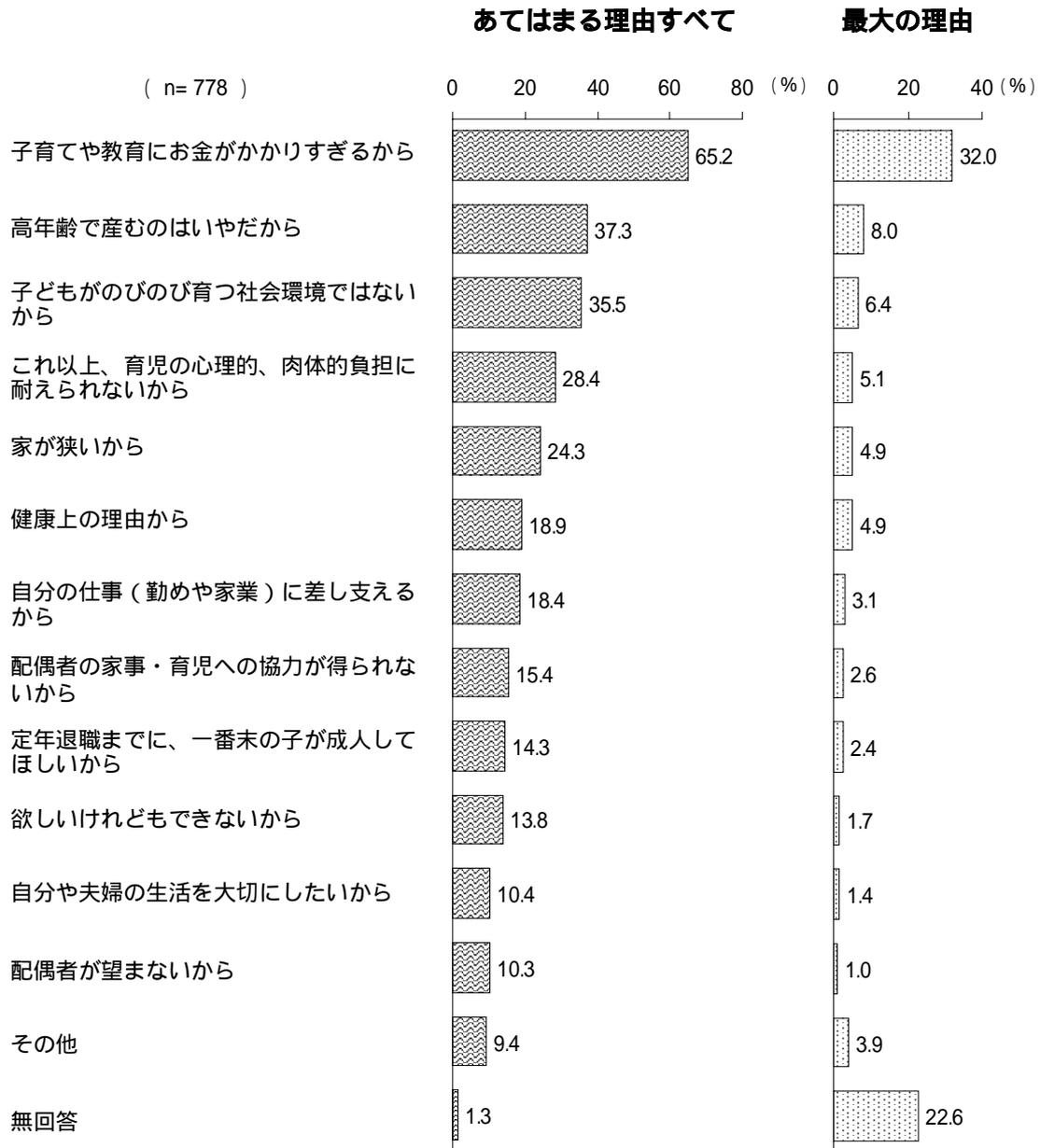


理想的な子どもの数は、「3人」が49.1%で最も多く、これに「2人」(36.5%)が次いでいます。

一方、持つつもりの人数としては、「2人」が55.0%と過半数を占めています。一方、「3人」は20.1%に留まっており、理想と現実のギャップが明確にあらわれています。

# 3

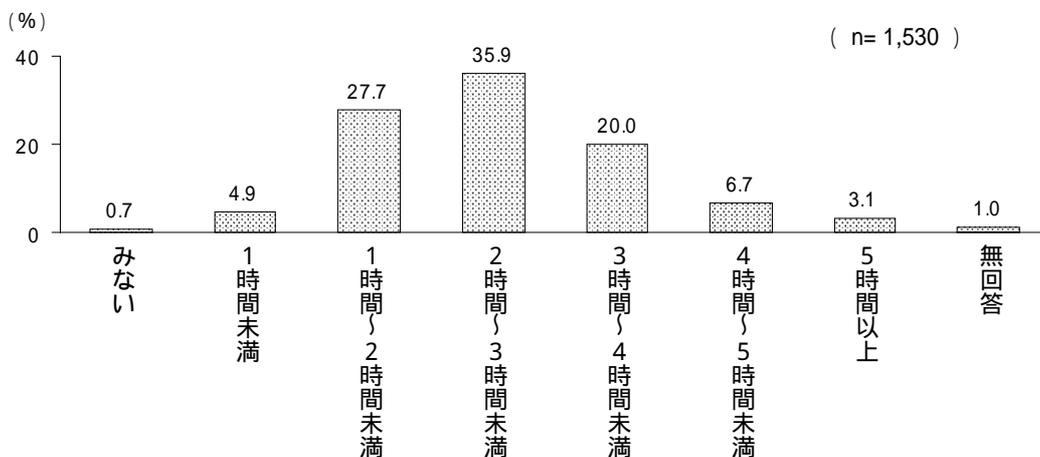
## 子どもが理想より少ない理由



持つつもりの子どもの数が、理想より少ない人に、その理由をきくと、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が65.2%で最も多く、以下「高年齢で産むのはいやだから」(37.3%)、「子どもがのびのび育つ社会環境ではないから」(35.5%)、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」(28.4%)、「家が狭いから」(24.3%)の順で続いています。

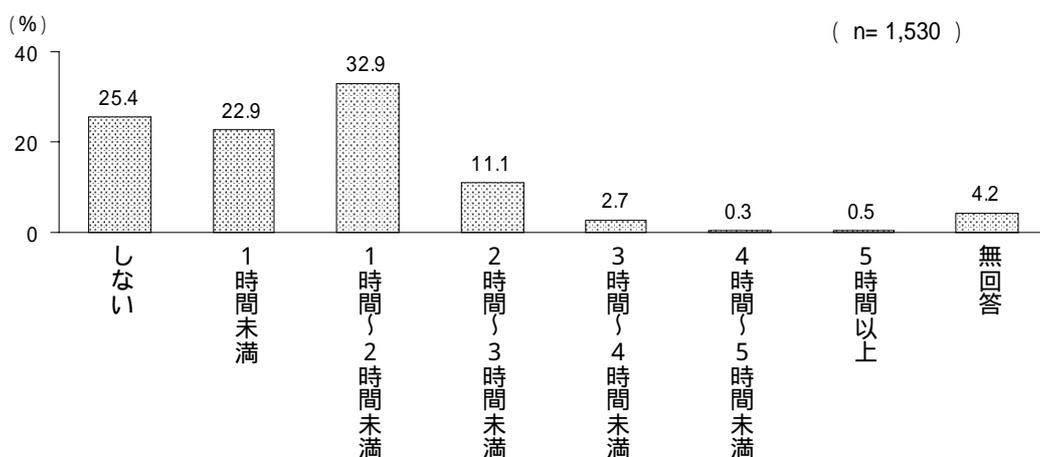
次に、その最大の理由をきくと、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(32.0%)が突出して多くなっています。この他の理由は各項目に分散していますが、その中では「高年齢で産むのはいやだから」(8.0%)と「健康上の理由から」(6.4%)が多くなっています。

## 4 テレビ・ビデオの視聴時間



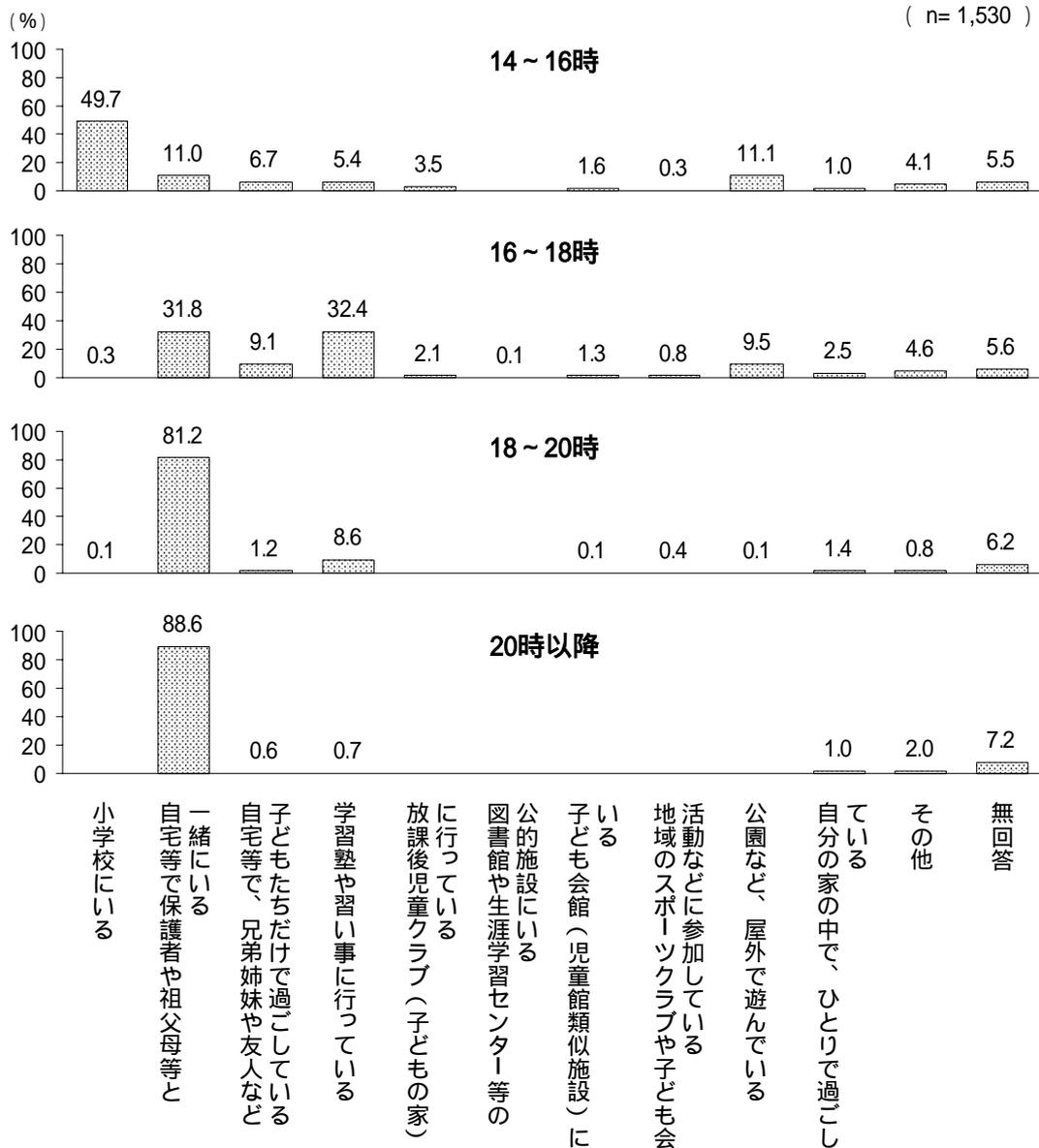
1日に、子どもがテレビやビデオを見る時間は、「2時間～3時間未満」が35.9%で最も多く、以下「1時間～2時間未満」(27.7%)、「3時間～4時間未満」(20.0%)が次いでいます。また、この結果を平均すると「2.1時間」となります。

## 5 テレビゲームやパソコンで遊ぶ時間



1日に、子どもがテレビゲームやコンピューターゲームをする時間は、「1時間～2時間未満」が32.9%で最も多く、以下「1時間未満」(22.9%)、「2時間～3時間未満」(11.1%)が次いでいます。また、この結果を平均すると「0.8時間」となります。

## 6 平日の放課後の過ごし方

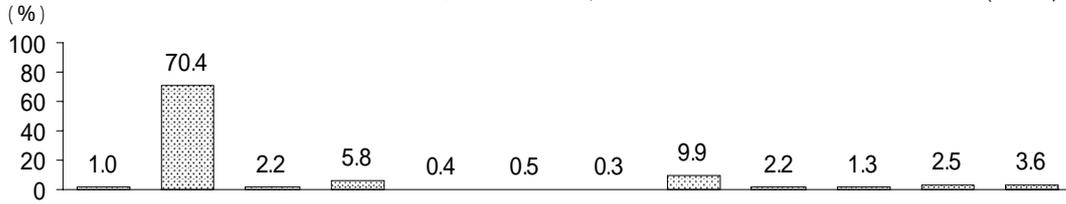


平日の放課後の日常的な子どもの過ごし方で一番多いものを、14~16時、16~18時、18~20時、20時以降の4つの時間帯についてきいたところ、14~16時では、「小学校にいる」が49.7%と突出して多くなっています。16~18時では、「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいた」(31.8%)、「学習塾や習い事に行っている」(32.4%)の2項目が多くなっています。18~20時では、「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」が81.2%と圧倒的に多くなっています。

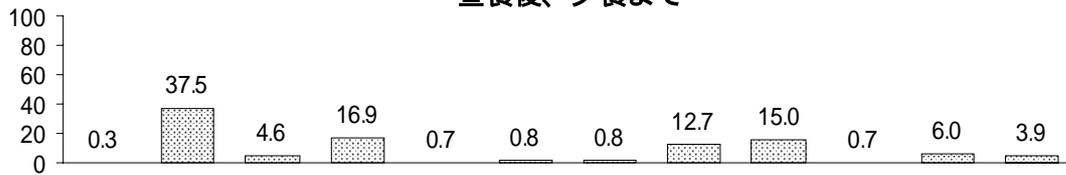
## 土曜日

### 朝起きてから、昼食まで

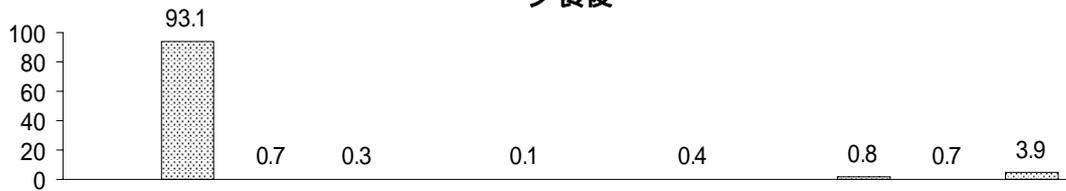
( n = 1,530 )



### 昼食後、夕食まで



### 夕食後



小学校にいる  
 自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる  
 子どもたちだけで過ごしている  
 自宅等で、兄弟姉妹や友人など  
 学習塾や習い事に行っている  
 放課後児童クラブ(子どもの家)に行っている  
 図書館や生涯学習センター等の公的施設にいる  
 子ども会館(児童館類似施設)にいる  
 地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している  
 公園など、屋外で遊んでいる  
 自分の家の中で、ひとりで過ごしている  
 その他  
 無回答

学校の休みの日の日常的な子どもの過ごし方で一番多いものを、朝起きてから、昼食まで 昼食後、夕食後まで 夕食後 の3つの時間帯についてきいたところ、土曜日の場合、朝起きてから、昼食まで では、「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」が70.4%と圧倒的に多くなっています。

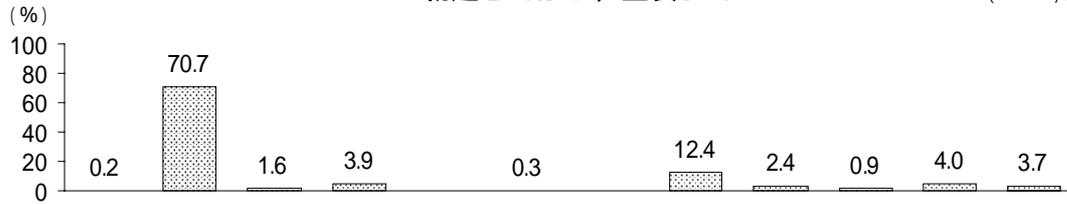
昼食後、夕食まで では、「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」(37.5%)のほか、「学習塾や習い事に行っている」(16.9%)、「公園など、屋外で遊んでいる」(15.0%)、「地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している」(12.7%)などに分散しています。

夕食後 では、「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」が93.1%と圧倒的に多くなっています。

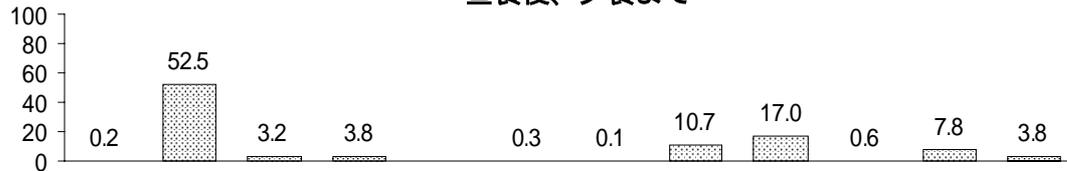
## 休日

### 朝起きてから、昼食まで

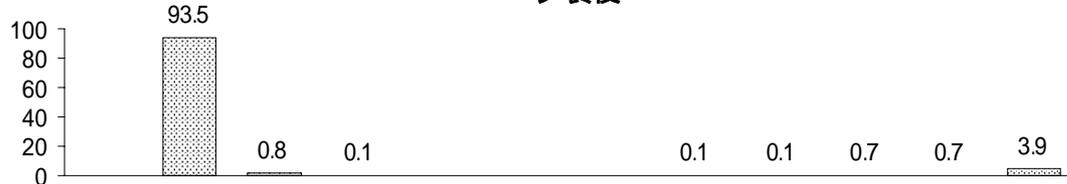
( n= 1,530 )



### 昼食後、夕食まで



### 夕食後



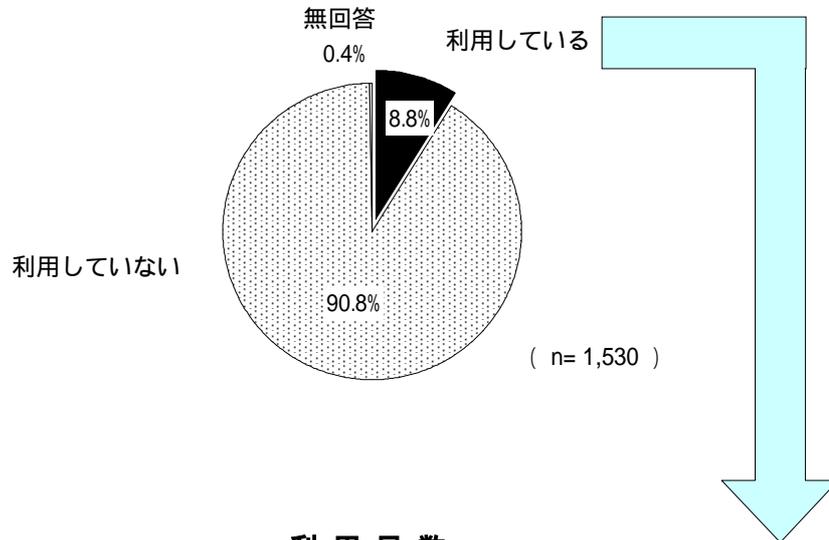
小学校にいる  
自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる  
自宅等で、兄弟姉妹や友人など  
子どもたちだけで過ごしている  
学習塾や習い事に行っている  
放課後児童クラブ(子どもの家)に行っている  
公的施設にいる (図書館や生涯学習センター等の)  
子どもの会館(児童館類似施設)にいる  
地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している  
公園など、屋外で遊んでいる  
自分の中で、ひとりで過ごしている  
その他  
無回答

休日の場合、朝起きてから、昼食まで では、「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」が70.7%と圧倒的に多くなっています。

昼食後、夕食後まで では、「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」(52.5%)が過半数を占めています。また、「公園など、屋外で遊んでいる」(17.0%)、「地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している」(10.7%)などに分散しています。

夕食後 では、「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」が93.5%と圧倒的に多くなっています。

## 利用状況



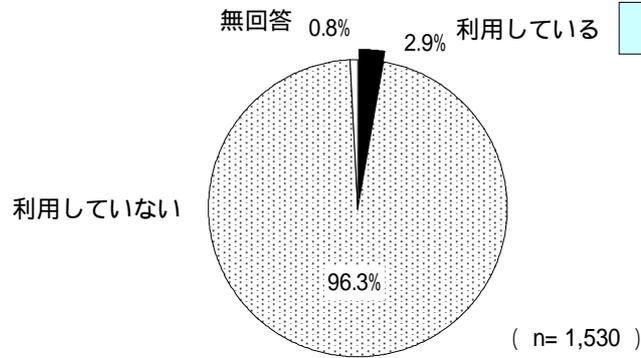
## 利用日数



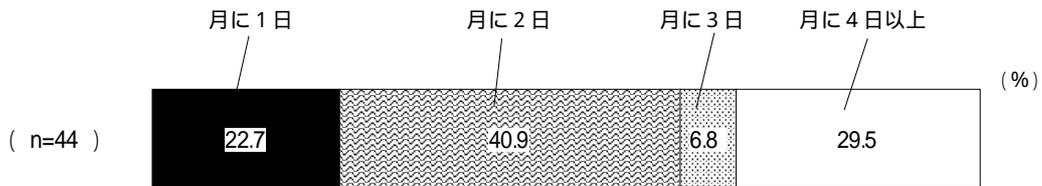
平日に放課後児童クラブを「利用している」人は8.8%になっています。その利用日数は「月に15日以上」が40.0%と最も多く、以下「月に10~14日」(17.0%)、「月に5日~9日」(13.3%)の順で続いています。

また、これを平均すると「月に11.5日」となります。

利用状況

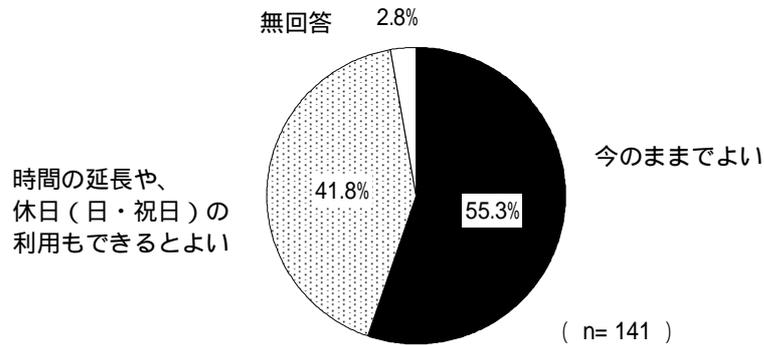


利用日数



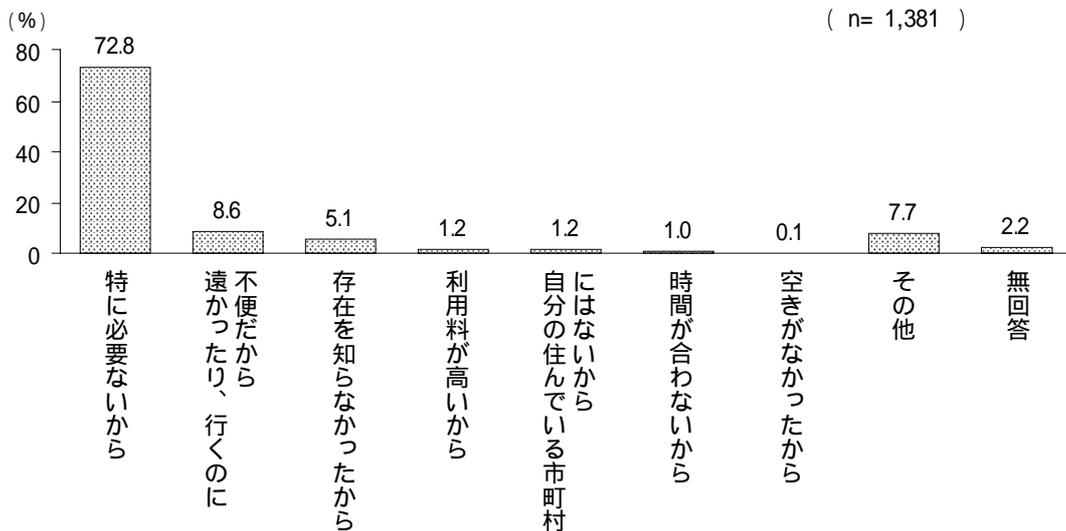
土曜日の放課後児童クラブを「利用している」人は2.9%となっています。その利用日数は「月に2日」(40.9%)が最も多くなっています。  
 また、これを平均すると「月に2.5日」となります

## 放課後児童クラブ(子どもの家)の利用時間の延長や 休日の利用の希望



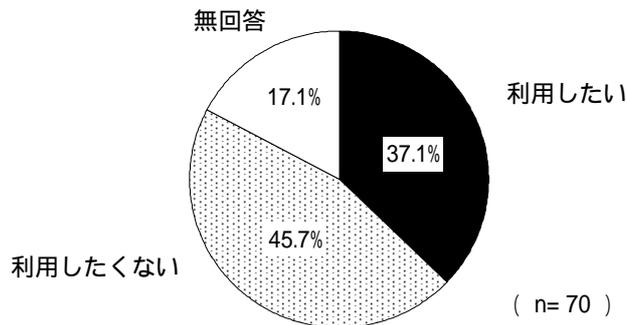
現在通っている放課後児童クラブの利用時間についてみると、「今のままでよい」が55.3%を占めています。一方、「時間の延長や、休日(日・祝日)の利用もできるとよい」は41.8%となっています。

## 放課後児童クラブを利用しない理由



土曜日も日曜日も放課後児童クラブを利用していないという人(全体の90.3%)に、その理由をきくと、「特に必要ないから」が72.8%で最も多くなっています。他の項目では「遠かったり、行くのに不便だから」(8.6%)と「存在を知らなかったから」(5.1%)が多くなっています。

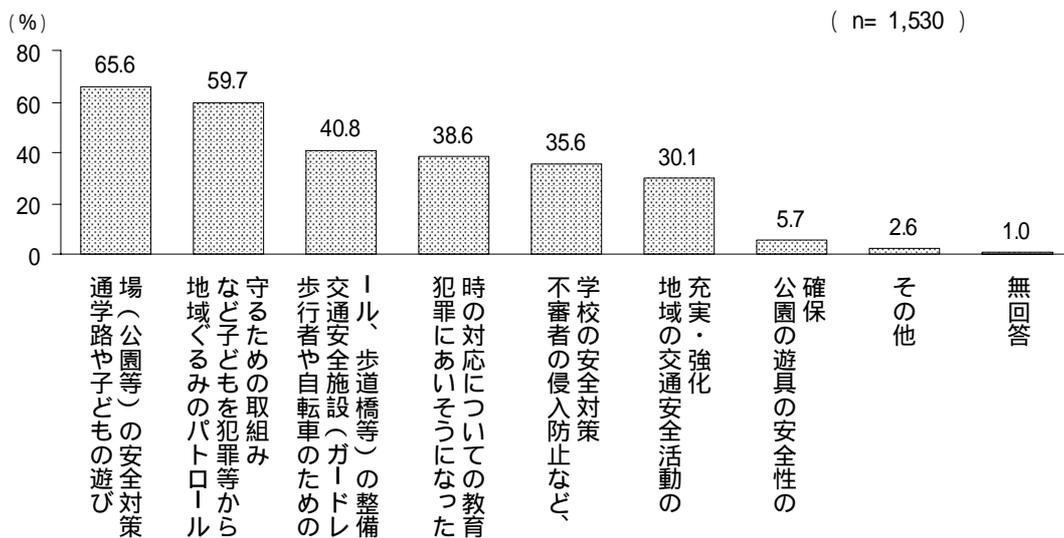
## 放課後児童クラブ(子どもの家)を知らなかった人の今後の利用の希望



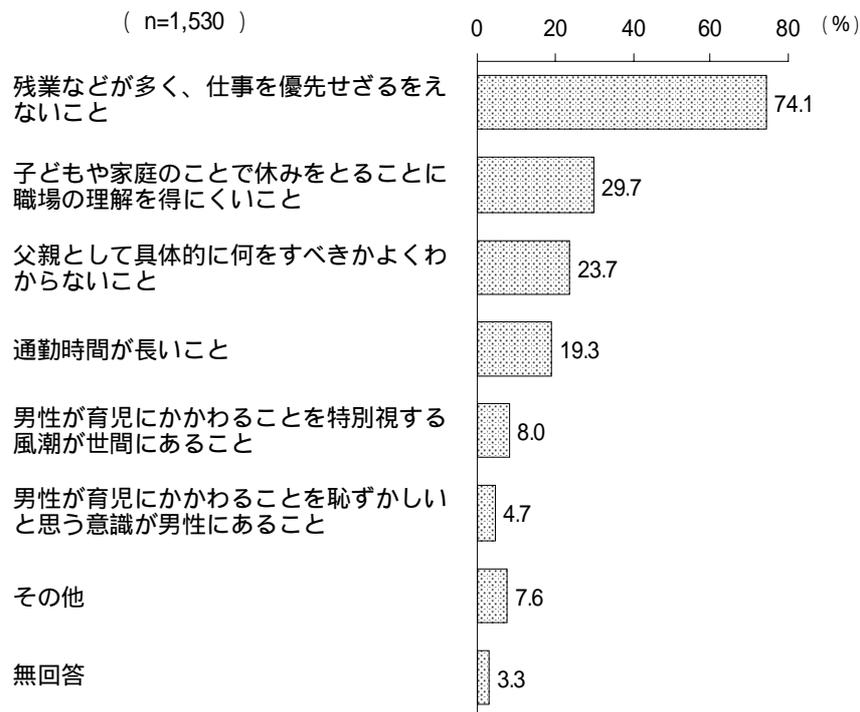
知らなかった人の今後の放課後児童クラブ利用希望の有無では、「利用したい」が37.1%になっています。

### 次世代育成支援(子育て支援)のあり方

## 子どもの安全を守るために重要なこと



子どもの安全を守るの必要なものとしては、「通学路や子どもの遊び場(公園等)の安全対策」が65.6%で最も多く、以下「地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪等から守るための取組み」(59.7%)、「歩行者や自転車のための交通安全施設(ガードレール、歩道橋等)の整備」(40.8%)、「犯罪にあいそうになった時の対応についての教育」(38.6%)、「不審者の侵入防止など、学校の安全対策」(35.6%)の順で続いています。



父親が子育てにかかわりづらい理由としては、「残業などが多く、仕事を優先せざるをえないこと」(74.1%)が突出して多くなっています。また、「子どもや家庭のことで休みをとることに職場の理解を得にくいこと」(29.7%)、「父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと」(23.7%)、「通勤時間が長いこと」(19.3%)も多くなっています。